

平成29年度採択 長寿命で優れた耐摩耗性・耐肌荒れ性等を有するφ1000mm以上の 圧延用大径ロールの開発 (株)フジコー(福岡県) 主たる技術：精密加工に関わる技術

- ・大径ロールはロール単価が高価にもかかわらず交換頻度が高く、鉄鋼メーカーは設備保全費の増大に苦慮している。
- ・大径ロールは主に溶射、溶接、遠心鋳造での表面処理で製造されているが、剥離や耐摩耗性等の問題から十分な耐用を示せていない。
- ・CPCでの表面処理により課題の解決は可能だが、膨大な設備投資や製造難易度の高さから大径ロールを製造することは困難である。
- ・本研究ではCPC処理を施したスリーブを拡大加工することで、CPC法の優れた特性を持つ大径ロールの開発を目的とする。

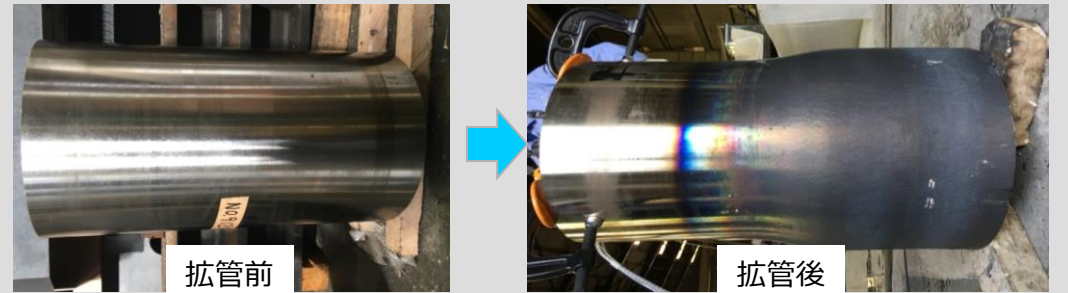
研究開発の成果

■ 大径拡管装置の設計・製作が完了した。

・縦型であった小径拡管装置を参考に、装置サイズ、作業者の安全面を考慮し横型の装置として設計・製作した。

■ 適切な拡管が可能な条件を設定できた。

- ・拡管温度：1000～1100℃
- ・セグメントの回転：有り
- ・回転角度：25°
- ・同一高さでの拡管回数：2回
- ・スリーブの下降幅：20mm



研究体制

事業管理機関 公益財団法人北九州産業学術推進機構

株式会社フジコー

協力者

拓南製鐵株式会社
第一高周波工業株式会社

国立大学法人九州工業大学

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名 (株)フジコー技術開発センター
近藤加寿心

E-mail : k-kondou.fujico@kfjc.co.jp

電話番号 : 093-701-4500